特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 140 号] 平成 31 年 3 月 22 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16□電話　048-931-3844

19名で定例活動、5 袋回収

3月 17 日(日)、穏やかな快晴。木村、古田、佐藤宣、佐藤し、小峰、篠岡、間宮、黒田陽、荻原、井坂、中島、黒田温、相原、田中佑、磯崎、伊丹の 16 名と八幡町の西山親子、伊藤さんがカヌー体験で加わり、19 名でゴミ拾い活動をしました。5 袋の成果でした。11 時からの出前講座に間に合うように左岸船着場へ戻りました。

文化観光課長さん出前講座!

第２回出前講座、杉浦文化観光課長さん、米沢補佐さんをお招きして「おもてなしの心が息づく観光の実現」のご講話をいただきました。パワーポイントを使用して草加市の観光政策をお伺いしました。綾瀬川を活かした街づくりでは、中根和舟の会の活動を支援することは組み入れられているが、草加パドラーズは一言も触れられず観光政策に入っていないこともわかりました。

5人で８袋分回収

まだ多いよ～！浮遊ゴミ

3月20日(水)、定例活動に木村、松下、村田、井坂、中島の５名が参加し、８袋分の浮遊ゴミを回収しました。草加松原沿い約1.5ｋｍに漂うゴミの回収に１時間以上かかりました。今日は少し多いねえ～！と会話を交わしながらの活動でした。気温も高く穏やかなカヌー日和でした。右岸の松並橋付近の土手には菜の花が満開に咲き誇っていました。

プレハブ小屋の工事開始

3 月 20 日(水)、草加市環境課のプレハブ小屋建設の工事が開始されました。綾瀬川クリーン大作戦の拠点にという考え方で草加市が動いてくれました。草加パドラーズの公益性の高い活動を理解し予算化していただいて実現されるものです。会員の皆さんの日頃の地道な活動が評価されたものですが、今回は佐藤市議、矢部市議のお力添えがあったことをお伝えいたします。

《活動の話題》

①3/21(祝)、少年部が「川の日」ワークショップ関東大会で最優秀賞を受賞した件で相原、二ノ宮の２名が「東武よみうり新聞」佐藤記者さんの取材を受けました。

②3/24(日)午前 10 時～「大規模災害時にパドラーズが出来ること」という演題で危機管理部長大原宏行氏の講話をいただくことになりました。